

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回虹色学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 8 年（2026 年） 5 月 1 9 日（火）開会 9：00 閉会 11：00		
開催場所		つくば市立研究学園小学校多目的室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野尻 敏弘、槇 幸子、実川 菜穂、仲村 健、 三田部 勇、川村 靖子、二木 重光、島田 由美子 研究学園中学校：校長 印南 千明、教務主任 落合 里美 研究学園小学校：校長 渡部 哲、教頭 川島 真由美 教務主任 本橋 桂子		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 係長：松橋 千栄 社会教育主事：柴崎 英二 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 項（個人情報）に該当する情報が含まれるため		
議題		熟議「研学防災 Vol. 2 の在り方について」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 説明事項「つくば市コミュニティ・スクール重点項目について」 4 会長・副会長の選出 5 協議 (1)「学校運営の基本方針について」 (2) 令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について (3) 授業参観 (4) 熟議「研学防災 Vol. 2 について」 6 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡等 7 閉会			
	＜審議内容＞ 1 開会 川島委員：令和 8 年度第 1 回虹色学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。会議を進行するにあたり書記を虹色学園中学校落合委員にお願いしたい。 →承認 2 任命書交付 川島委員：「任命書の交付」を行う。任期は今年度末まで、守秘義務等の責務がある。 3 説明事項 事務局：市 CS について（市 CS の進め方参照）つくば市が大切にしている 3 つのこと（資料 P. 1）を基に人と人のつながりをゴールとする。そのために、主体的			

な会議運営（事前打ち合わせを行う）、教職員への周知（教員が困っていることの把握）、CS Co. の周知を行う。（資料 P. 3）CS 評価ガイドラインを確認し、評価を意識した運営を心掛ける（資料 P. 20）写真撮影・録音は今年度より可とする。マナーを守った上で SNS に上げることで地域への周知を図る。CS Co. 野尻委員・榎委員・実川委員に担ってもらう。

4 会長・副会長の選出

委員による互選によって決定。立候補者なし。事務局案として会長を三田部委員、副会長を仲村委員にお願いしたい。→承認

5 協議

（1）学園の基本方針とグランドデザインについて

印南委員：グランドデザイン改定部分について説明。これまでの実践を土台に「より安心できる学校」・「より成長を実感できる学校」を目指す。一人一人の幸せを最上位の目標としグランドデザインを改定した。昨年度のアンケートから学習指導・体力向上・情報発信が課題と考えた。

＜学習指導＞単元構成を工夫し協働による深い学びを目指す。根拠に基づいて自分の考えを伝える力を育む。

＜体力向上＞最後までやり遂げる力の育成。自ら楽しみながら自然に体を動かせる工夫。

＜情報発信＞質の高い HP・スクリーンでの情報公開により、保護者や地域での対話のきっかけを作る。部活動地域展開・保幼小の連携を強化する。見える化と地域連携を大切にしていける。

渡部委員：体力向上が課題。三田部委員から楽しく体を動かす授業へのアドバイスをもらいたい。小中合同スポーツフェスティバルを分けて実施するが、交流は残したい。縄跳びチャンピオンを招いて良い見本を示す体験活動を実施。休み時間の PC の制限で目を守る取り組みを実施。さらに、外で遊ぶように促す。リアルタイムで教職員が情報を発信する。

野尻委員：グランドデザインに保護者のアンケートを反映していてありがたい。縄跳びチャンピオンを招いたことで子供が刺激を受けた。体験する機会は重要である。教育活動を実施する際に学校が困っていることないか。見守りなどで保護者が必要なのではないか。

渡部委員：教員の働き方改革がよい教育につながる。休み時間の見守りをすると、教職員の休憩の時間が取れない実態がある。保護者や地域の方の見守りがあるとありがたい。

野尻委員：授業サポーターの募集に 50 名以上名乗り出ている。学校と相談して活用していきたい。

三田部委員：サポートの活用に向けて他の学校ではどんな取組があるのか。

事務局：日常的に行っている学校は少ない。登下校の見守りを地域の方をお願いする学校はある。地域の方の高齢化が進んでいるので新しい方を入れる工夫が必要である。学習支援に対して大学生や退職された方等人材はいる。

事務局：授業の見守りにいきなり入ると戸惑う場面がある。対応の仕方の研修をしてから活動に入る取組をしている例がある。

三田部委員：研学サポーターと学校で話し合いを実施して時期や方法を考え実施していく。委員にグランドデザインについて承認を諮る。→承認

(2) 予算計画について

川島委員：昨年度の予算の使い道は、防災イベント・野球イベント・キャリア教育（6年・7年）においてG T謝礼や実施費用で40万円使用。草刈りなど消耗品で10万円使用。本年度も、同様に使っていきたい。

※本年度防災イベントをどのように進めていくかを基に予算を考える。

(3) 授業参観（小学校・中学校）

(4) 熟議：「研学防災 Vol.2 の在り方について」

本橋委員：児童生徒の実態と昨年度の経験を基に、以下の3点で話し合いを進める。

学校の防災を強化する視点、家庭の防災につなげる視点、地域と学校をつなぐ視点。

～15分～

（以下、各グループの話し合いの概要）

落合委員：授業に絡めることで、多くの参加者を巻き込めるが、実施時期に配慮が必要。防災に限定してよいのか。

実川委員：昨年度は「防災を知る」をテーマで実施したので、今年度は「実践」としたい。つくばスタイル科の防災単元で実施が良いのではないかな。

島田委員：子供たちが主体となる活動が理想。暑さと防災を絡めてはどうか。

6 その他

事務局：アンケートの結果を参考に今後の活動に活かしてほしい。新任のCS委員の方向けの動画作成予定。既に委員の連絡網ができていますので活用をお願いしたい。

仲村委員：4月上旬に市役所付近高架北側通路が整備され通行できるようになった。一方、駅前の駐輪場付近に自転車と歩行者の交錯リスクの高い区間がある。研究学園の区長の会議にて分離するような線が必要との意見もあったが、それが最善の解決策とはいいきれない。線路側によって歩くなどの指導が必要である。

野尻委員：サポーターズの会議でも話題になった。中学校では、歩行者がいるときは自転車を降りる指導をすることになった。

仲村委員：中学生は指導できるが、大人は難しい。今後、必要であれば市に要望を出すなど対策を考える。

実川委員：CS協議会は年3回だが、その間で議論できるか。

川島委員：第2回11月25日（水）14:00～第3回 2月8日（月）9:00～

実川委員：イベントを実施するには話し合いが必要になる。

事務局：活動をするためにCS Co.を中心に話し合いの場を設ける必要がある。CS協議会の話し合いとCS Co.を中心に行う話し合いの両輪が必要。

野尻委員：防犯の予防が煩雑で学校が困っている。市で管理することはできないのか。

印南委員：不審者情報の学校からの連絡が大変。事件があった場合、学校単位で情報を流している。学校では、それを月に10件ほど不審者情報として保護者に配信している。内容も主観的でカメラを向けられた気がしたというような内容のことが多い。市で報告を集約することは可能か。

事務局：保護者が入力することになるとより情報が多くなるのではないか。学び推進課にも伝える。

島田委員：情報を全て流していると、本当に大切な情報が埋もれてしまうのが怖い。

野尻委員：防犯の担当と市が協力してできるとよい。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和 8 年度第 1 回虹色学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 5 月 19 日（火） 9：00～

場所：研究学園小学校 多目的室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 説明事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について

4 会長・副会長の選出

5 協 議

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について
- (3) 授業参観
- (4) 熟議 テーマ「研学防災 Vol.2 について」

6 その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・諸連絡等

7 閉 会

虹色学園(研究学園小学校・研究学園中学校)グランドデザイン2026

茨城県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し
協力し合う心を育てる

【教育理念】

- 児童生徒が今の幸せを実感できる教育活動を実践する。
- 児童生徒が将来、自立して幸せな人生を送るための力を育む。
- 1人1人に寄り添い、誰一人取り残さない。

【学園教育目標】

みんなの幸せを大切に、自ら考え行動できる児童生徒の育成
＜子どもたちの「自立」と「幸せ」を目指す＞

つくば市の目標

みんなが幸せを実感できる学
園・学校・幼稚園

自己実現できる学校

みんなで支え合い、みんなが生
き生きした学校

目指す学園像

- 子どもも保護者も教職員も幸せを感じら
れる学園
- ・学びたくなる学園
- ・子どもが自らつくる学園
- ・挑戦が称賛される学園

目指す児童生徒像

- 研 研究・探究に主体的に取り組む
児童生徒
- が 学校の仲間の幸せを大切にする
児童生徒
- く くじけず、自立して学校生活を送る
児童生徒

目指す教師像

- 人間性豊かで高い使命感のある教師
- 子どもの多様性を理解し、一人ひとり
に愛情をもって寄り添える教師
- 明るく前向きで、尊敬しあい
協働のできる教師

【組織目標】

- 主体的・対話的で探究的な学びの実現
- 非認知能力を育成し社会的自立を目指す教育活動の推進
- 働き方改革の推進と信頼関係構築によるみんなの幸せの実現

主体的・対話的で 探究的な学びの実現

【特色ある施策】

- 主体的な学びを促進するための
「指示から問いかけ」への転換
- ワクワクが連続する学びのデザイン
- 協働を重ね学びを深める単元構成の
工夫
- 自分の問いを立て、探り、新たな問
いへとつながる学びの工夫
- 1人1台端末の創造的活用
- 授業と家庭学習の連続的学びの確立

【数値目標（80%以上）】

- なぜ、という気持ちをもって学んでいる。
- 端末を工夫して自在に使う。
- 根拠に基づいて適切に自分の考えを伝
える。

非認知能力と社会的自立を 目指す教育活動の推進

【特色ある施策】

- デジタルの良さも生かしたリアルな体
験活動の重視
- 感性を磨く芸術活動の重視
- 行事や体験活動における「やり抜く」
経験の重視
- 対話を重視した合意形成活動の充実
- 楽しみながら動ける体をつくる多様な
身体活動の充実

【数値目標（80%以上）】

- 自分の考えや意見が大事にされている。
- 最後まで粘り強く取り組める。
- 体力テストA+B（45%）

働き方改革の推進と信頼関係構築 によるみんなの幸せの実現

【特色ある施策】

- 安心と信頼にあふれ、高め合う学級、
集団づくり
- 試行錯誤と挑戦が称賛される集団づ
くり
- 多様性を尊重した自治活動の充実
- 安全、安心な居場所づくり
- インクルーシブを意識した多様な他者
と関わる学びの充実
- 働きやすさと働きがいの両立

【数値目標（80%以上）】

- 学校が楽しいと思う。
- 自分には「よい」と思えるところがある。
- 働きがいがあり働きやすい。

施設隣接型を生かした小中一貫教育の充実・推進

- ハード面（施設隣接型小中一貫校）の特徴を生かした学校組織の一体化による効果的な学校経営
- 児童生徒の日常的な交流による、より多様な他者との関わりを生かした多様性と包摂性を兼ね備える学びの推進
- 教職員の密な連携と協働による、連続的および系統的な児童生徒の学びや育ちの伴走

コミュニティスクールとしての学校運営体制の創造と地域・保護者の支援体制の充実

- 学校、家庭、地域が目標を共有し協働しながら子どもたちを支える組織の確立に向けたコミュニティスクール協議会のリーダーシップの発揮
※コミュニティスクール：協議会を設置し、教育目標を共有したうえで、子どもたちを学校、家庭、地域で支える学校
- 研学サポーターズを核とした地域学校協働活動の充実による子どもたちの充実感・達成感の涵養および地域に根差す市民性の育成
※研学サポーターズ：「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに子どもたちの成長と学校教育を支える保護者組織
- 子どもの自立と幸せを願い、家庭と学校が活動の見える化と対話で共に支え合う体制の確立

ICTを最大限を活用した教育の創造

- 主体的・対話的で探究的な学びにICTを活用すること
による個別最適で協働的な学びのバージョンアップ
- 教育とAIを融合させた創造的な学びの実現に向けた
職員研修の充実と教育資源の発掘、活用

働き方改革の推進

- 保護者ボランティアを生かす学校運営の推進
- 環境整備に対する役割分担および簡素化
- 時間外業務時間月あたり45時間以内の徹底
- 働きがい高めるワークライフバランスの推進
- 部活動地域展開の推進

社会に開かれた教育課程の推進

- 外部人材の活用、体験活動の充実
(教科等横断的・探究的な学び、キャリア教育 等)
- 地域との連携・協働の促進
- 保幼小連携により、接続プログラムや交流を通じ遊
びから学びへの円滑な接続と資質・能力の育成

特別支援教育の充実

- 障害の状態や特性等に応じた指導上の配慮の充実
- インクルーシブ体制の推進と全教職員による指導体
制の充実

安心・安全な学校づくり

- 危機の未然防止および最善の初期対応方法の日常
的アップデートと適切な運用
- 福祉の視点を取り入れた支援体制の確立と、SC
・SSWの積極的な活用

教員研修の充実

- キャリアステージに基づいた教職員研修の活性化
- 高め合う集団組織風土の涵養と個別最適な研修の
推進